

第 6 期神戸市介護保険事業計画・神戸市高齢者保健福祉計画 実施状況（主なもの）

1. 介護予防・生活支援を推進する地域づくり

高齢者のニーズや地域の実情を踏まえ、効果的な介護予防・生活支援を推進する地域づくりを進めていく。

○生きがい対応型デイサービス

介護予防・閉じこもり防止を目的に、日常動作訓練、趣味活動などを実施。

平成 29 年 1 月現在 131 箇所 利用登録人数約 2,300 人

○地域拠点型一般介護予防事業の開始（29 年度）

地域特性に応じた介護予防の取り組みを推進することとし、専門職を派遣するなど介護予防強化メニューを実施（小学校区毎に 1 箇所設置目標）。

○フレイル健診（29 年度）

65 歳の市民を対象に、集団健診会場や薬局等において、要介護状態に移行しやすいフレイル予防の観点に基づいた各種質問の聞き取りや握力などの各種測定を実施。

2. 認知症施策の総合的推進

地域において、発症初期をはじめとする認知症の状況に応じた対応ができるよう、医療と介護が一体となった支援体制の構築を図る。

○認知症初期集中支援チームの拡大

認知症が疑われる人やその家族を訪問し、鑑別診断につなげていくなど、支援を集中的に行う専門職によるサポートチーム。

平成 27 年度 3 区（東灘・中央・長田）へ拡大

平成 29 年度 全区設置予定

○認知症疾患医療センターの拡充

認知症の鑑別診断に加え、身体合併症や周辺症状に対する急性期治療、専門医療相談などを実施。

平成 27 年度 2 箇所（①神戸大学医学部附属病院、②六甲アイランド甲南病院）

平成 29 年 1 月～ 5 箇所へ拡大（③神戸百年記念病院、④光風病院、⑤新生病院）

○認知症サポート医の配置

かかりつけ医の助言その他の支援を行い、専門医療機関やあんしんすこやかセンター等への連携の推進役となる認知症サポート医を養成。

平成 28 年度末 89 名

3. 医療と介護の連携の推進

住み慣れた地域で、医療・介護サービスを受けながら安心して住み続けられるよう、医療・介護の連携を強化。

○医療介護サポートセンターの設置

医療・介護関係者からの在宅医療に関する相談対応、多職種連携会議の開催など、地域での医療と介護の連携を支援。

平成 28 年度 4 区（東灘・中央・北（2 箇所）・垂水）に設置

平成 29 年度 全区設置予定

○地域ケア会議の開催

日常生活圏域（あんしんすこやかセンター単位）毎に実施し、地域での多職種連携を推進。

平成 28 年度までに 75 あんしんすこやかセンターが開催

4. 高齢者が安心できる多様な住まいの確保

高齢者が、「住みなれた地域で、介護を受けながら暮らし続けること」を可能とし、様々なニーズに対応できる多様な住まいの整備を推進。

○特別養護老人ホームの整備

特別養護老人ホームは、国の整備促進の方針（一億総活躍社会の実現）を受け、第 7 期計画を前倒し。国有地を活用して 567 床の整備を既に決定。

（特別養護老人ホームの整備状況・予定）

（床）

第 5 期末整備 累計	第 6 期期間中整 備数 (計画)	平成 27・28 年 度中整備数 (実績)	平成 29 年度 (公募予定)	第 7 期前倒し 整備 (決定済)
5,882	750	310	440	567

○サービス付き高齢者向け住宅

・登録数 85 件 3,193 戸（平成 28 年 12 月末現在）

5. 介護給付費の状況

	計画	実績	割合
平成 27 年度給付費	116,409 百万円	113,081 百万円	97.1%

第6期神戸市介護保険事業計画・神戸市高齢者保険福祉計画の実施状況

I 生涯現役社会づくりの推進										
1 生涯現役社会づくり・地域支え合い体制の推進										
<p>○介護予防サロンや介護予防カフェなど、高齢者が社会参加できる住民主体の通いの場の充実</p> <p>【介護予防カフェの実施】</p> <p>26年度 ①説明会の開催 7回 280名参加 ②介護予防カフェの実施 39か所 延べ5,962名参加</p> <p>27年度 ①説明会の開催 2回 74名参加 ②介護予防カフェの実施 57か所 延べ12,525名参加</p> <p>28年度(12月末現在)</p> <p>①説明会の開催 2回 35名参加 ②介護予防カフェの実施 62か所 延べ12,535名参加 ③介護予防カフェスタッフの交流会の実施 1回 20組32名</p> <p>【介護予防サロン推進事業の実施】</p> <p>26年度 ①対象地域 4か所 ②介護予防サロンの実施 2か所</p> <p>27年度 ①対象地域 6か所 ②介護予防サロンの実施 2か所</p> <p>28年度(12月末現在)</p> <p>①対象地域 9か所 ②介護予防サロンの実施 6か所</p> <p>【生きがい対応型デイサービスの実施】</p> <p>26年度 139箇所 利用登録人数2,351人 27年度 136箇所 利用登録人数2,304人 28年度(1月末現在) 131箇所 利用登録人数約2,300人</p> <p>【地域拠点型一般介護予防事業の開始】(平成29年度～)</p> <p>地域特性に応じた介護予防の取り組みを推進することとし、専門職を派遣するなど介護予防強化メニューを実施(小学校区毎に1箇所設置目標)。</p>										
<p>○シルバーフレンド訪問支援事業(シルバーフレンドとして登録された老人クラブの会員が、転居してきた高齢者や一人暮らしの高齢者などに対し、話し相手や老人クラブの活動の案内などを行う)の実施</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th style="text-align: center;">延派遣者数</th> <th style="text-align: center;">延活動時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>26年度</td> <td style="text-align: center;">13,113名</td> <td style="text-align: center;">9,432時間</td> </tr> <tr> <td>27年度</td> <td style="text-align: center;">10,029名</td> <td style="text-align: center;">6,308時間</td> </tr> </tbody> </table>		延派遣者数	延活動時間	26年度	13,113名	9,432時間	27年度	10,029名	6,308時間	
	延派遣者数	延活動時間								
26年度	13,113名	9,432時間								
27年度	10,029名	6,308時間								

○高齢者相互支援事業（支援員として登録された老人クラブの会員が、話し相手や買い物といった簡単な手助けを行う）の実施

	延派遣者数	派遣回数
26年度	406名	2,035回
27年度	400名	2,029回

○シルバーカレッジ在校生による社会還元事業の実施

	ボランティアグループ登録グループ数	延活動者数
26年度	30グループ	17,026名
27年度	30グループ	17,849名

○こうべ長寿祭（60歳以上の高齢者の文化・スポーツの祭典）の開催

26年度	開催種目合計	17種目	3,542人参加、179点出展
27年度	開催種目合計	17種目	3,404人参加、196点出展
28年度	開催種目合計	15種目	2,987人参加、227点出展

○神戸市シルバー人材センターによる高齢者に適した仕事の提供

【事業実績】

	26年度	27年度	28年度(12月末現在)
①契約件数	39,961件	41,818件	33,611件
②会員就業率	64.8%	66.4%	—

○介護予防や健康づくりに取り組む高齢者や地域団体等を対象とした介護予防サポーターの育成

【生活支援サービス立上げ支援事業】

26年度	補助団体数	3団体（東灘区でモデル実施）
27年度	補助団体数	1団体
28年度	補助団体数	2団体

【生活支援・介護予防サポーター養成研修の実施】

26年度	養成人数	約70名
27年度	養成人数	約170名
28年度(12月末現在)	養成人数	約170名
	追加養成人数	約60名(予定)

○高齢者の閉じこもり防止や健康増進のための外出機会を提供するため、65歳以上の高齢者に対する「すこやかカード」（様々な施設に無料または割引料金で入場できるカード・すこやか手帳に封入）を交付

26年度	25,250人交付
27年度	22,806人交付
28年度(12月末現在)	15,657人交付

○高齢者の移動を支援し社会参加を促進するため、70歳以上の高齢者に対する敬老優待乗車証を交付

【敬老優待乗車証 交付枚数】

26年度 225,531枚

27年度 228,585枚

○「市民福祉大学」を拠点としたボランティアに関する講座の開講

【市民福祉大学における市民対象ボランティア講座の実施（介護以外も含む）】

26年度 ①講座数 10本

②受講者数 254名

27年度 ①講座数 10本

②受講者数 265名

28年度（予定）①講座数 10本

②受講者数 243名

○コミュニティサポートグループ育成支援（介護予防やコミュニティづくりに資する活動を行う住民主体のボランティアグループの結成を促進）

26年度 支援グループ数 323グループ

27年度 支援グループ数 307グループ

○ボランティアセンター・ボランティア情報センター（各区・市社会福祉協議会）における、ボランティアに関する相談、需給調整、情報提供、養成などのコーディネートの実施

【ボランティア活動支援の状況】

26年度 ①ボランティア登録件数 団体2,139件、個人2,532件

②ボランティアマッチング件数 1,696件

27年度 ①ボランティア登録件数 団体2,154件、個人2,371件

②ボランティアマッチング件数 1,624件

28年度 ①ボランティア登録件数 団体2,171件、個人2,810件（11月末現在）

②ボランティアマッチング件数 1,574件（11月末現在）

○「地域福祉ネットワーク事業」（既存の制度やサービスでは解決が困難な複合化した福祉課題について、解決に向けたネットワーク作りを推進する）の展開

【地域福祉ネットワークの配置数、相談件数】

26年度 ①地域福祉ネットワーク配置数 7人

②ニーズの掘り起こし件数 254件

27年度 ①地域福祉ネットワーク配置数 9人

②ニーズの掘り起こし件数 281件

28年度 ①地域福祉ネットワーク配置数 20人

②ニーズの掘り起こし件数 467件（4月～11月）

2 介護予防・日常生活支援総合事業の創設

- （再掲）地域に不足するサービスの立ち上げを行うNPO等への支援や、住民参加型サービスの担い手を養成する研修の実施

【生活支援サービス立上げ支援事業】

26年度 補助団体数 3団体（東灘区でモデル実施）

27年度 補助団体数 1団体

28年度 補助団体数 2団体

【生活支援・介護予防サポーター養成研修の実施】

26年度 養成人数 約70名

27年度 養成人数 約170名

28年度（12月末現在）

養成人数 約170名

追加養成人数 約60名（予定）

3 市民啓発

- 健康教室、イベントなどの機会や総合健康情報ウェブサイト「KOBE健康くらぶ」による健康的な生活習慣に向けた啓発、情報発信

- ・「KOBE健康くらぶ」では、開設（平成26年3月）以降、市民が自主的に健康づくりに取り組めるよう、こころと体の健康に関する情報を総合的に発信しており、平成26年11月からは、KOBE健康くらぶfacebookで、よりタイムリーに情報を発信している。

【講演会の実施】（共催・後援含む）

26年度 ①糖尿病講演会 1回70人

②慢性腎臓病講演会 3回346人

③アレルギー疾患講演会 1回91人

27年度 ①糖尿病講演会 1回70人

②慢性腎臓病講演会 3回362人

③アレルギー疾患講演会 1回108人

28年度 ①熱中症講演会 1回250人

②糖尿病講演会 1回60人

③慢性腎臓病講演会 1回145人（2回は29年2月実施）

④アレルギー疾患講演会（29年2月実施）

【健康教育の実施】（40歳以上）

26年度 406回 17,089人

27年度 418回 17,401人

28年度 296回 11,423人（28年11月実施まで）

【神戸市民健康大学講座の開催】

26年度 ①実施回数 全15講座（本講座13+卒業後講座2）

②受講者数 238名

③修了者数 172名

- 27年度 ①実施回数 全15講座（本講座13+卒業後講座2）
②受講者数 219名
③修了者数 157名
- 28年度 ①実施回数 全15講座（本講座13+卒業後講座2）
②受講者数 196名
③修了者数 143名

【ちらし・ポスターの作成】

- 26年度 熱中症を予防しよう
- 27年度 動脈硬化から血管を守る～メニュー編～
健口体操を行いましょ
- 28年度 毎日野菜をプラス一皿～メニュー編～
健康も楽しい食事もいい歯から～歯科健診を受けましょ～

【ホームページからの啓発】

- 26年度 熱中症、アレルギー情報の提供
- 27年度 熱中症、アレルギー情報の提供
- 28年度 熱中症、アレルギー情報の提供

○民間事業者や各団体と連携した介護予防の啓発活動

- ・ ネスレ日本との連携協定により実施されるこうべ元気！いきいき！！プロジェクトに基づき、介護予防の周知啓発を実施。

【介護予防カフェにおける啓発活動の実施】

- 26年度 ①介護予防教室 2か所
②健康情報の発信 2回
- 27年度 ①介護予防教室 6か所
②健康情報の発信 6回
- 28年度 ①介護予防教室 3か所
②健康情報の発信 4回

【民間企業・団体等と連携した啓発活動の実施】

- 26年度 実施日：平成26年11月15日（土）
実施場所：神戸ハーバーランド デュオドーム
参加者数：約1,000人
参加団体数：ステージ 5団体
ブース 12団体
- 27年度 実施日：平成27年11月7日（土）
実施場所：神戸ハーバーランド デュオドーム
参加者数：約1,200人
参加団体数：ステージ 5団体
ブース 10団体

28年度 実施日：平成28年10月22日（土）
実施場所：神戸ハーバーランド スペースシアター
参加団体数：ステージ 5団体
 ブース 11団体

II 健康づくりと介護予防の新たな展開

○健康相談の推進、健康診査を受診することの啓発

【健康相談の実施】40歳以上（75歳以上再掲）

26年度 255回 2,771人（1,570人）
27年度 253回 2,455人（1,774人）
28年度 148回 1,193人（423人）（28年11月実施まで）

【後期高齢者健康診査の実施】

26年度 14,227人
27年度 15,905人
28年度 10,482人（11月末現在）

【後期高齢者健康診査事後指導】

26年度 100人
27年度 514人
28年度 467人（28年11月実施まで）

【歯周疾患検診の実施】

26年度 485人
27年度 504人
28年度 495人

【後期高齢者（75歳）歯科健康診査の実施】

26年度 未実施
27年度 1,178人
28年度 652人（11月末現在）

【健康診査受診勧奨ポスターを配布】

26年度～28年度 ①健康診査指定医療機関 約800部
 ②調剤薬局 約800部
 ③自治体市政広報ポスター 7,400部

【神戸けんしんガイド（特定健診・がん検診等成人の健診が一覧で分かるもの）の作成】

26年度～28年度 ①広報紙KOBEに挟み込み 全戸配布 約836,000部
 ②各区役所で配布 約10,000部
 ③神戸市集団健診実施機関で配布 約6,000部
 ④健康関連のイベントで配布 約20,000部

○フレイル健診の実施

65歳の市民を対象に、集団健診会場や薬局等において、要介護状態に移行しやすいフレイル予防の観点に基づいた各種質問の聞き取りや握力などの各種測定を実施。平成29年度より実施予定。

○大学・研究機関との共同による効果的な介護予防事業の展開

26年度

- ① 日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの開発と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(4地域)
- ② JAGES プロジェクトのデータを活用した、介護予防啓発媒体の広報紙挟み込みの実施(全戸配布)
- ③ 大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

27年度

- ① JAGES プロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」のモデル地域における効果検証の開始(2地区対象)
- ② JAGES プロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの活用と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(2地域)
- ③ 大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

28年度

- ① JAGES プロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」のモデル地域を拡大し、効果検証を継続(1地区拡大)
- ② JAGES プロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」の効果検証の実施(57ヶ所対象)
- ③ JAGES プロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの活用と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(3地域)
- ④ 大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

○(再掲)介護予防サロンや介護予防カフェをはじめとする住民主体の通いの場の充実

【介護予防カフェの実施】

- 26年度 ①説明会の開催 7回 280名参加
②介護予防カフェの実施 39か所 延べ5,962名参加
- 27年度 ①説明会の開催 2回 74名参加
②介護予防カフェの実施 57か所 延べ12,525名参加
- 28年度(12月末現在)
①説明会の開催 2回 35名参加
②介護予防カフェの実施 62か所 延べ12,535名参加
③介護予防カフェスタッフの交流会の実施 1回 20組32名

【介護予防サロン推進事業の実施】

- 26年度 ①対象地域 4か所
②介護予防サロンの実施 2か所
- 27年度 ①対象地域 6か所
②介護予防サロンの実施 2か所

28年度（12月末現在）

①対象地域 9か所

②介護予防サロンの実施 6か所

【生きがい対応型デイサービスの実施】

26年度 139箇所 利用登録人数2,493人

27年度 136箇所 利用登録人数2,104人

28年度（1月末現在）

131箇所 利用登録人数約2,300人

【地域拠点型一般介護予防事業の開始】（平成29年度～）

地域特性に応じた介護予防の取り組みを推進することとし、専門職を派遣するなど介護予防強化メニューを実施（小学校区毎に1箇所設置目標）。

Ⅲ 自己決定への支援

1 相談体制の充実・分かりやすい広報の充実

○あんしんすこやかセンター職員等に対する研修

26年度 初任者研修 4回

テーマ別研修 9回（地域診断、ネットワークづくり）

年次別研修 1回

若年性認知症支援研修会 1回

高齢者虐待対応研修 4回

予防給付ケアマネジメント従事者研修 8回

27年度 初任者研修 5回

テーマ別研修 7回（ネットワークづくり、ファシリテーション）

高齢者虐待対応研修 4回

認知症地域支援推進員研修 2回

若年性認知症支援研修会 1回

介護予防サロン進捗報告会 1回

予防給付ケアマネジメント従事者研修 7回

28年度 初任者研修 5回

テーマ別研修 6回（ファシリテーション、地域課題化、地域診断）

高齢者虐待対応研修 4回

認知症地域支援推進員研修 2回

若年性認知症支援研修会 1回

予防給付ケアマネジメント従事者研修 4回

総合事業移行に伴う新しい介護予防ケアマネジメント従事者研修 14回

○あんしんすこやかセンターの周知

26年度 市政広報ポスターの作成

いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展

新神戸駅での広告掲示

あんしんすこやかセンターマップ、一覧パンフレット作成

- 27年度 広報KOB E2月号に掲載
 広報KOB E6月号挟み込み
 いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展
- 28年度 コンビニ・みなと銀行へのセンターパンフレットの配置
 神戸市営地下鉄への看板広告
 いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展

○研修会、ケアプランチェック等によるケアマネジャーの支援

- ・ 自立支援型ケアマネジメント研修の開催
 26年度 5日間 延べ488名参加
 27年度 5日間 延べ455名参加
- ・ 居宅事業者説明会（集団指導）にて、ケアプランチェックで改善指導の多い項目等を説明、結果のフィードバックを実施。
- ・ 居宅介護支援事業者を対象に面接によるケアプランチェックを実施。（個別の事例を通じケアマネジャーの気付きを促し、適切なケアマネジメントを支援。平成28年度に市内一巡をほぼ達成）
- ・ 事業者説明会（集団指導）にて、ケアプランチェックで改善指導の多い項目等を説明、結果のフィードバックを実施。
- ・ 区ケアマネジャー連絡会と連携し、アセスメントを通じたケアプラン作成について理解を深める研修会を開催。（4区）
- ・ 制度改正（総合事業）に伴い、あんしんすこやかセンター、ケアマネジャーに対して研修会（全14回）事業者説明会（2回）を実施。
- ・ あんしんすこやかセンターの主任ケアマネジャーが中心となり事例検討会等を開催。（医療・介護の連携や多職種連携の必要性など、ケアマネジャーのスキル向上を図る。）

○介護保険制度に関する広報（広報紙への掲載、市民向けの説明会の開催）

- 26～28年度
- ・ 広報紙KOB E（H27.6月号）に「健康寿命を延ばしましょう」を挟み込み、第6期介護保険事業計画の取り組みや27年度制度改正の内容を周知。
 - ・ 「介護保険のあらまし」を作成し、あんしんすこやかセンター等による制度案内を実施。
 - ・ 「介護保険ポケットガイド」を保険料納入通知書と合わせて全ての被保険者に送付。
 - ・ 神戸市ホームページ内「こうべケアネット」による情報発信。

2 権利擁護／虐待防止対策

○成年後見制度の普及・啓発

- 26年度 ①成年後見相談件数 1,395件
 ②講師派遣 21箇所
- 27年度 ①成年後見相談件数 1,383件
 ②講師派遣 29箇所
- 28年度（12月末現在）
 ①成年後見相談件数 1,006件
 ②講師派遣 22箇所

○区役所における成年後見の利用手続き相談の実施

26年度 ①開催区 4区

②相談件数 54件

27年度 ①開催区 5区

②相談件数 63件

28年度 (12月末現在)

①開催区 5区

②相談件数 61件

○市民後見人の養成

26年度 ①市民後見人候補者名簿登録者数 64名

②市民後見人後見活動実績 21件 (終了13件)

27年度 ①市民後見人候補者名簿登録者数 84名

②市民後見人活動実績 26件 (終了22件)

28年度 (12月末現在)

①市民後見人候補者名簿登録者数 113名

②市民後見人活動実績 30件 (終了27件)

○高齢者虐待対応ワーキングチームの活用による対応困難な事例への支援

・ケアマネジャー等の支援者に対し、ワーキングチームにより、法的・医療的・福祉的に専門的な助言等を行う。

26年度 9件

27年度 9件

28年度 8件 (2月末見込)

○あんしんすこやかセンター職員やケアマネジャー等高齢者虐待に関わる支援者の連携体制の充実、援助技術の向上を図るための研修の実施

【あんしんすこやか係、あんしんすこやかセンター職員向け研修】

26年度 3回

27年度 4回

28年度 4回

【ケアマネジャー対象研修】

26年度 1回

27年度 1回

28年度 1回 (3/3開催予定)

○高齢者虐待による重篤な状況を回避するための空床情報提供システム・緊急一時保護サービス (神戸市老人福祉施設連盟と協議を行い、短期入所緊急利用に関する仕組みを構築している。)

26年度 12件

27年度 8件

28年度 (4月～9月) 6件

○施設・事業所に対する職員研修の実施

- ・ 本市条例で年1回以上の虐待防止研修実施を定めており、虐待防止に向けての指導啓発をおこなっている。
- ・ 毎年、虐待防止研修実施報告を受理。

【対象事業所】

(地域密着型) 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設入居者生活介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護、夜間対応型訪問介護

【報告件数】

26年度 307件

27年度 359件

28年度 413件

IV 在宅医療・介護連携の推進

○個別支援から全市レベルまでの相互連携体制の構築による地域包括ケアシステムの推進

【地域ケア会議（日常生活圏域）の開催】

26年度 27 あんしんすこやかセンターが開催

27年度 64 あんしんすこやかセンターが開催

28年度（2月末現在） 75 あんしんすこやかセンターが開催

【区地域ケア会議の開催】

28年度（1月末現在） 6区（中央・北（北神）・兵庫・須磨・垂水・西）で開催

【地域包括ケア推進会議の開催】

27年度 1回（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、精神科病院協会、民間病院協会、ケアマネジャー連絡会、介護老人福祉施設連盟、介護老人保健施設協会、シルバーサービス事業者連絡会、社会福祉士会、作業療法士会、理学療法士会より参加）

【医療介護サポートセンターの設置】

28年度 東灘区、中央区、北区（2ヶ所）、垂水区に開設

※ 他区は29年度中に開設予定

【医療介護サポートセンターにおける多職種連携会議、事例検討会、研修会等】

28年度（4～12月） 中央区 10回 延べ569人

北区 12回 延べ298人

北神 14回 延べ543人

垂水区 30回 延べ621人

※ 東灘区はコーディネーターの配置が遅れたため実績なし。

○ケアマネジャーに対する自立支援型ケアマネジメント研修や地域同行型ケアマネジメント研修（ケアマネ塾）の実施

【自立支援型ケアマネジメント研修】（再掲）

26年度 5日間 延べ488名参加

27年度 5日間 延べ455名参加

【地域同行型ケアマネジメント研修（ケアマネ塾）】

26年度 6日間 延べ66人参加

27年度 6日間 延べ50名参加

○神戸市介護サービス協会が実施する介護・福祉人材育成のための研修への支援

【各種研修会の開催】

26年度 ①介護現場で知っておきたい医学知識研修会の開催 6回 延べ646名参加

②サービス提供責任者研修会 4回 50名参加 他

27年度 ①介護現場で知っておきたい医学知識研修会の開催 6回 延べ572名参加

②サービス提供責任者研修会 4回 49名参加 他

28年度 (29年1月末現在)

①介護現場で知っておきたい医学知識研修会の開催 6回 延べ498名参加予定

②サービス提供責任者研修会 4回 42名参加 他

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護の普及啓発

【定期巡回事例発表会の開催】

- ・定期巡回サービス普及に向けて、ケアマネジャー等に対する事例発表会を開催。

27年度 1回 82名参加

○がん末期の方を抱える家族の在宅介護を支援する方策の検討

【がん末期在宅介護支援事業の実施】

要介護認定の申請後、がんの急激な進行により認定調査前に死亡したため認定に至らず、介護給付の対象外となった場合に、利用された介護サービスの費用（介護保険の給付費相当の9割分）を助成。

27年度 1件 15千円

28年度 2件 52千円（12月末現在）

V 生活支援・福祉サービスの充実

1 生活支援・福祉サービスの充実、地域支え合い活動の展開

○あんしんすこやかプランの実施

【家族介護・生活支援サービス】

- ・生活支援ショートステイ

26年度 28件 151日

27年度 21件 105日

28年度 15件 55日（28年12月末時点）

- ・高齢者安心登録事業（28年3月開始）

28年度 メール配信 18件（29年1月末時点）

登録者数 313人、検索協力者数 415人（28年12月末時点）

- ・介護用品の支給

26年度 2,751人

27年度 3,019人

28年度 2,975人（28年12月末時点）

- ・ 訪問理美容サービス
 - 26年度 920人 1,435回
 - 27年度 1,041人 1,423回
 - 28年度 927人 1,034回 (28年12月末時点)
- ・ 認知症高齢者訪問支援員派遣事業 (ほっとヘルパーサービス)
 - 26年度 60人
 - 27年度 48人
 - 28年度 26人 (28年11月末時点)

【生活環境改善支援サービス】

- ・ 住宅改修助成事業
 - 26年度 513件
 - 27年度 541件
 - 28年度 322件 (28年12月末時点)
- ・ 電磁調理器
 - 26年度 121件
 - 27年度 127件
 - 28年度 87件 (28年12月末時点)

【介護予防サービス】

- ・ 配食サービス
 - 26年度 2,493人
 - 27年度 2,104人
 - ※ 28年8月より補助事業に移行
- ・ 生きがい対応型デイサービス
 - 26年度 2,351人
 - 27年度 2,304人
 - 28年度 2,300人 (29年1月末時点)

○インフォーマルサービスの実態把握及び情報提供

【地域資源情報の集約】

- 26年度 通所型 2,082 訪問型 122
- 27年度 通所型 4,495 訪問型 723

○(再掲)住民参加型サービスの担い手を養成する研修の実施

【生活支援サービス立上げ支援事業】

- 26年度 補助団体数 3団体 (東灘区でモデル実施)
- 27年度 補助団体数 1団体
- 28年度 補助団体数 2団体

【生活支援・介護予防サポーター養成研修の実施】

- 26年度 養成人数 約70名
- 27年度 養成人数 約170名
- 28年度 (12月末現在)

養成人数 約 170 名
追加養成人数 約 60 名 (予定)

○外出支援、買い物やゴミだしなどの簡易な家事などの生活支援を行う地域貢献活動グループの立ち上げ支援

【コミュニティサポートグループ育成支援事業のうち、地域貢献活動推進グループ実績】

26年度 活動グループ数 14 グループ

27年度 活動グループ数 23 グループ

○「協力事業者による高齢者見守り事業」の拡充

26年度 協力事業者数 23 事業者

27年度 協力事業者数 28 事業者

28年度 協力事業者数 30 事業者 (28年12月末現在)

○「地域支え合い推進員」の配置による「地域支え合い活動」の一層の推進、「生活支援コーディネーター (行政区域)」による「地域支え合い推進員」への支援 (平成27年度～)

27年度 地域支え合い推進員 78 名配置

地域支え合い推進員連絡会開催 (各区、月1回)

小地域支え合い連絡会 680 回開催

コミュニティサポートグループ育成支援事業 307 グループ

28年度 (28年12月末現在)

地域支え合い推進員 78 名配置

地域支え合い推進員連絡会開催 (各区、月1回)

小地域支え合い連絡会の開催

コミュニティサポートグループ育成支援事業

第2層協議体機能を含む地域ケア会議の開催

2 暮らしの安全の確保

○生活情報センターにおける、相談・苦情への対応

26年度相談件数 13,400 件

27年度相談件数 12,862 件

28年度相談件数 9,229 件 (28年12月末現在)

○高齢者の消費者被害を防止するための講座の開催・消費生活に関する情報提供

【夕食宅配を利用した啓発資料の配布】

- ・生活協同組合コープこうべの夕食宅配事業の利用者に対し、悪質商法等による被害防止のための啓発資料を直接自宅まで送付。

26年度配布枚数 2,342 枚/月平均

27年度配布枚数 2,679 枚/月平均

28年度配布枚数 2,994 枚/月平均 (28年12月末時点)

【見守りサポーター養成講座の開催】

- ・神戸市老人クラブ連合会会員を対象に、地域の方に最新の悪質商法に関する情報を伝えたり、関係機関へのつなぎを行う「見守りサポーター」の養成講座を神戸市老人クラブ連合会と共催で開催。

27年度 3回 422名参加

28年度 2回 317名参加

【出張トークの実施】

- ・ 消費者問題解決の専門家として本市が養成した「消費生活マスター」を講師として派遣し、最近の消費者トラブル事例や商品・サービスの選択・使用等に役立つ情報を伝える。

26年度 22回 1,526名参加

27年度 24回 1,001名参加

28年度 23回 939名参加（29年1月末時点）

【いきいきトークの実施】

- ・ 神戸市消費者協会より派遣される消費生活専門相談員を講師とする、悪質商法や消費生活に関する講話。

26年度 29回 1,091名参加

27年度 22回 1,081名参加

28年度 22回 1,605名参加（29年1月末時点）

【高齢者ハンドブックの発行】

- ・ 高齢者自身だけでなく、高齢者を見守る方にも活用頂けるよう、高齢者の周りで起こりやすい消費者トラブルの事例や対処法を紹介。

26年度 発行部数 2,500冊

27年度 発行部数 2,000冊

28年度 発行部数 3,000冊（29年1月末時点）

【生活情報誌「くらし」の発行】

- ・ 最新の消費者問題の解説、悪質商法による苦情相談事例や対応方法の紹介。

26年度 3回発行 25,500部

27年度 3回発行 25,500部

28年度 2回発行 17,000部（29年1月末現在）

【「神戸市消費者あんしんメール」の配信】

- ・ 悪質商法による被害の情報等を迅速に携帯電話等に電子メールで配信。

26年度 配信：30回／年

27年度 配信：32回／年

28年度 配信：33回／年（29年1月末現在）

【あんしんすこやかセンター等、地域見守り支援者への情報共有】

- ・ あんしんすこやかセンター説明会や、各区のあんしんすこやかセンター連絡会、民生委員児童委員常任理事会等の場で、最新の消費者被害等について情報提供。

26年度 27回

27年度 17回

28年度 19回（29年1月末現在）

○民生委員やあんしんすこやかセンター職員等地域見守り支援者間での情報共有、連携の強化

【小地域支え合い連絡会の開催】

26年度 603回

27年度 680回

○緊急通報システム（ケアライン 119）の取り組み
 26年度末 稼働数 6,107 件 新規登録数 360 件
 27年度末 稼働数 5,905 件 新規登録数 283 件
 28年度 新規登録数 310 件（28年12月末現在）

○「防災福祉コミュニティ」の活動支援
 26年度 191 地区に対して活動支援を実施
 27年度 191 地区に対して活動支援を実施

VI 認知症施策の総合的推進

○認知症初期集中支援チームの複数区への拡大
 27年度 1区から3区（東灘区、中央区、長田区）へ拡大。
 ※29年度 全区配置予定

○神戸市認知症疾患医療センターの拡充
 27年度 2箇所設置（神戸大学医学部附属病院、六甲アイランド甲南病院（27年9月まで甲南病院））
 29年1月 5箇所へ拡大（神戸大学医学部附属病院、六甲アイランド甲南病院、神戸百年記念病院、兵庫県立光風病院、新生病院）

○各区に3名以上の認知症サポート医の配置
 ・平成26年度6名、平成27年度23名、平成28年度34名を新たに養成。28年度末で全市89名を配置。
 東灘区：15名、灘区：8名、中央区：10名、兵庫区：7名、北区：10名
 長田区：9名、須磨区：8名、垂水区：13名、西区：9名

○認知症サポート医フォローアップ研修の実施
 26年度 情報交換会1回 9人、フォローアップ研修会1回 44人
 27年度 情報交換会1回 28人、フォローアップ研修会1回 43人
 28年度 情報交換会1回 49人、フォローアップ研修会1回 54人

○認知症多職種協働研修（認知症ライフサポート研修）の実施
 26年度 5区 5回 計288人受講
 27年度 8区 12回 計741人受講
 28年度 9区（実績は集計中）

○医療従事者向けの認知症研修の実施
 26年度 かかりつけ医向け認知症対応力向上研修 1回 41人
 27年度 かかりつけ医向け認知症対応力向上研修 1回 38人
 病院勤務医療従事者向け認知症対応力向上研修 1回 33人
 28年度 かかりつけ医向け認知症対応力向上研修 1回 55人
 病院勤務医療従事者向け認知症対応力向上研修 2回 { 1回 89人
 1回 (H29.3.6)

○介護職員向けの認知症介護研修の実施

- ・ 認知症高齢者の置かれている立場に配慮した、良質な介護を担う人材を質・量ともに確保していくことを目的に実施。

【修了者実績】平成 28 年 12 月末現在（累計数）

実践者研修	3,570 名
実践リーダー研修	579 名
認知症介護指導者養成研修	40 名
認知症介護指導者フォローアップ研修	2 名
開設者研修	23 名
管理者研修	177 名
計画作成担当者研修	64 名
基礎研修	50 名

○認知症サポーター養成講座の実施

- ・ 地域において認知症に対する偏見をなくし、正しい理解を普及するために認知症サポーターを養成。

【認知症サポーター養成数】

26年度	11,522 名	（累計数	53,386 人）
27年度	13,914 名	（累計数	67,300 人）
28年度	8,503 名	（累計数	75,803 人） ※28年 11 月末現在

○認知症予防教室の開講

【開催実績】

26年度	1クール6回×22クール	計 132 回	実人数 345 名	述べ 1,896 名参加
27年度	1クール6回×21クール	計 126 回	実人数 418 名	延べ 2,121 名参加
28年度	1クール6回×21クール	計 126 回		

○徘徊で行方不明になった認知症高齢者を早く発見するための SOS ネットワークの構築

- ・ 行方不明者届を受理した警察署から区役所や民間事業者（タクシー会社、介護保険事業所等）に行方不明者情報を FAX 送信し、受信した人が可能な範囲で周囲を検索する「SOS ネットワーク」を構築。
- ・ 行方不明など日常生活に心配のある高齢者の情報を事前登録し、あんしんすこやかセンターや警察で共有し、行方不明時には電子メールで捜索協力者に警察への情報提供を呼びかける高齢者安心登録事業を平成 28 年 3 月より開始。

【登録高齢者】

313 名 捜索協力者：415 名（平成 28 年 12 月 30 日現在）

【メール配信件数（平成 29 年 1 月 30 日現在）】

18 件（結果：当日中に警察が保護 16 件、2 日後に警察が保護 1 件、死亡発見 1 件）

○認知症サポーターステッカーを掲示しているお店等の普及

- ・ 認知症とそのご家族が、いつでも安心してお散歩やお買い物ができるよう、認知症サポーターのいるお店や施設などに、目印となる「認知症サポーターステッカー」を掲示。

<p>【配布実績】</p> <p>27年度末 累計数 2,327 枚</p>
<p>○認知症高齢者等や家族の集いの場の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録しているカフェの広報協力等の支援を行う「こうべオレンジカフェ登録事業」を平成28年3月より開始。 <p>【登録実績】</p> <p>28年度 23箇所登録（28年11月末現在）</p>
<p>○若年性認知症に関する相談体制の充実・周知</p> <ul style="list-style-type: none"> こうべ認知症生活相談センターにおいて相談（若年性認知症も含む）に対応。 <p>26年度 82件 27年度 66件 28年度 31件（28年12月末現在）</p>
<p>○「認知症ケアネット」（状態に応じた適切な認知症支援の流れ）の作成・普及</p> <p>27年度 全区で作成 28年度 各区役所及びあんしんすこやかセンター窓口で配布、市ホームページに掲載。</p>
<p>○（再掲）成年後見制度の普及・啓発</p> <p>26年度 ①成年後見相談件数 1,395件 ②講師派遣 21箇所 27年度 ①成年後見相談件数 1,383件 ②講師派遣 29箇所 28年度（12月末現在） ①成年後見相談件数 1,006件 ②講師派遣 22箇所</p>
<p>○（再掲）区役所における成年後見の利用手続き相談を実施</p> <p>26年度 ①開催区 4区 ②相談件数 54件 27年度 ①開催区 5区 ②相談件数 63件 28年度（12月末現在） ①開催区 5区 ②相談件数 61件</p>
<p>○（再掲）市民後見人の養成</p> <p>26年度 ①市民後見人候補者名簿登録者数 64名 ②市民後見人後見活動実績 21件（終了13件） 27年度 ①市民後見人候補者名簿登録者数 84名 ②市民後見人活動実績 26件（終了22件） 28年度（12月末現在） ①市民後見人候補者名簿登録者数 113名 ②市民後見人活動実績 30件（終了27件）</p>

Ⅶ 介護／リハビリテーションの充実

1 介護保険サービスの充実

○（再掲）定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスのさらなる普及啓発

【定期巡回事例発表会の開催】

- ・ 定期巡回サービス普及に向けて、ケアマネジャーや事業者に対する事例発表会を開催。
27年度 1回 82名参加

○介護保険事業者に対する実地指導・集団指導の実施

26年度

- ① 実地指導 222件
- ② 監査 168件
- ③ 集団指導 3回

27年度

- ① 実地指導 266件
- ② 監査 160件
- ③ 集団指導 2回

28年度（28年12月末現在）

- ① 実地指導 200件
- ② 監査 100件
- ③ 集団指導 1回

2 リハビリテーションの推進

○福祉用具適正利用ガイドラインハンドブックの活用促進

28年度 介護サービス協会全体研修会（88名参加）にて配布

○ピアサポーターの養成、活用の推進

【ピアサポーター活用の推進】

- | | | | |
|------|--------|-----------|----------------------|
| 26年度 | 発表活動 | 7病院 58回 | 活動ピアサポーター延べ 130人 |
| | 個別支援活動 | 18回 利用者2名 | 活動ピアサポーター1名 |
| 27年度 | 発表活動 | 5病院 75回 | 活動ピアサポーター延べ 175人 |
| | 個別支援活動 | 31回 利用者4名 | 活動ピアサポーター2人 |
| 28年度 | 発表活動 | 5病院 66回 | 活動ピアサポーター延べ 146人 |
| | 個別支援活動 | 41回、利用者6人 | 活動ピアサポーター3人（28年12月末） |

【ピアサポーターの養成】

- 26年度 ピアサポーター育成研修・交流会 73人（県精神保健福祉センターと共催）
- 27年度 ピアサポーター育成研修・交流会 93人（県精神保健福祉センターへの後援）
- 28年度 ピアサポーター交流会 55名（県精神保健福祉センターへの後援）
ピアサポーター養成研修・フォローアップ研修 27人（28年12月末）

○退院後生活環境相談員及び地域援助事業者等（相談支援事業者、介護保険事業者）の資質の向上、連携促進のための研修等の実施

26年度 地域移行推進事業協議会 1回 40人

27年度 地域移行推進事業協議会 1回 75名

28年度 地域移行推進連携会議 1回 84名

地域住民向け研修 1回

相談支援事業所等へのスーパーバイザーの派遣 11回（28年12月末）

3 緊急時のセーフティネットの充実・介護者のレスパイト支援

○ミドルステイサービスの実施

平成26年 3件

平成27年 5件

平成28年 1件（29年1月現在）

○福祉避難所の拡大、福祉避難所の環境整備

【福祉避難所の拡大】

26年度	①地域福祉センター	192 施設
	②神戸市老人福祉施設連盟施設	107 施設
	③その他（民間宿泊施設等）	31 施設
		合計 330 施設

27年度	①地域福祉センター	192 施設
	②神戸市老人福祉施設連盟施設	110 施設
	③その他（民間宿泊施設等）	33 施設
		合計 335 施設

28年度	①地域福祉センター	192 施設
	②神戸市老人福祉施設連盟施設	110 施設
	③神戸市身体障害者施設連盟施設	6 施設
	④神戸市知的障害者施設連盟施設	15 施設
	⑤その他（民間宿泊施設等）	33 施設
		合計 356 施設

・平成28年度より、災害時に要介護者の初動受け入れや相談支援等を行う拠点として「基幹福祉避難所」（市内12施設）を指定

【福祉避難所の環境整備（要介護者用備蓄物資）】

26年度 簡易ベッド（100基）・簡易トイレ（100個）のほか、大人用紙おむつや流動食等の備蓄

27年度 簡易ベッド（130基）・更衣用トイレ（50基）のほか、流動食等の備蓄

28年度 簡易ベッド（130基）・更衣用トイレ（70基）・白杖（350本）・点字器（350個）・筆談器（350個）のほか流動食の備蓄

○「介護リフレッシュ教室」の開講

26年度 412回開催（1センター平均：5.3回）

27年度 423回開催（1センター平均：5.4回）

Ⅷ 安全・安心な住生活環境の確保

1 多様な住まいの確保

○サービス付き高齢者向け住宅の普及促進

- ・ すまいるネットによる制度や登録住宅についての情報提供（登録簿や登録住宅のパンフレットも閲覧可能とする等）
- ・ 神戸市ホームページ（ケアネット）へサービス付き高齢者向け住宅情報システムをリンクすることによる市民への情報提供

○サービス付き高齢者向け住宅の神戸市内登録件数

26年度 新規登録数 15件（432戸）・全登録数 71件（2643戸）

27年度 新規登録数 9件（366戸）・全登録数 80件（3009戸）

28年度 新規登録数 5件（184戸）・全登録数 85件（3193戸）（28年12月末現在）

○サービス付き高齢者向け住宅に対する住宅部局と福祉部局による立入調査

26年度：16件

27年度：31件

28年度：14件（28年12月末現在）

○サービス付き高齢者向け住宅に関する実態把握と誘導水準の検討

28年度 サービス付き高齢者向け住宅の下記の実態調査によって現状把握を行うとともに、その調査結果を基に、すまい審議会においてサービス付き高齢者向け住宅の誘導水準や方策のあり方について検討中。

- ① 居住者及び運営事業者アンケート調査
- ② 先進事例等調査
- ③ 神戸市内運営事業者ヒアリング調査
- ④ 立入検査結果の整理・分析

○神戸市居住支援協議会における入居制限の実態や住宅確保要配慮者の居住支援等の課題に対する取り組み方策の検討

26年度 ①「こうべ賃貸住宅あんしん入居制度」の創設

②住宅セーフティネット再構築検討ワーキンググループの開催 4回

③JTI マイホーム借上げ制度相談会の開催 8回 102組 117名参加

27年度 ①神戸市居住支援協議会ホームページの改訂

②JTI マイホーム借上げ制度相談会の開催 4回 41組 53名参加

③「住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業」の一部事務実施

28年度（28年12月末現在）

①住宅確保要配慮者への住情報提供の充実のためのヒアリング調査実施

②JTI マイホーム借上げ制度相談会の開催 2回 26組 35名参加

③「住宅確保要配慮者あんしん居住推進事業」の一部事務実施

- 「こうべ賃貸住宅あんしん入居制度」の利用促進
- 26年度 問い合わせ件数 151件
成約実績 1件(福祉整理サービス)
- 27年度 問い合わせ件数 204件
成約実績 4件(福祉整理サービス3件, 残存家具片付けサービス1件)
- 28年度(28年12月末現在)
問い合わせ件数 101件
成約実績 22件(福祉整理サービス21件, 残存家具片付けサービス1件)

2 施設・居住系サービスの確保

- 施設整備計画 (床)

種別	第5期末整備 累計	第6期期間中 整備数 (計画)	平成27・28年 度中整備数 (実績)	整備累計 (H28年度末)
特別養護老人ホーム※	5,882	750	310	6,192
介護老人保健施設	5,431	300	100	5,531
認知症高齢者グループホーム	2,142	432	162	2,304
有料老人ホーム・ケアハウス	8,217	900	301	8,518

※特別養護老人ホームについては、国の整備促進の方針(一億総活躍社会の実現)を受け、第7期計画を前倒し。国有地を活用して567床の整備を既に決定。

- (再掲) サービス付き高齢者向け住宅の神戸市内登録件数
- 26年度 新規登録数15件(432戸)・全登録数71件(2643戸)
- 27年度 新規登録数9件(366戸)・全登録数80件(3009戸)
- 28年度 新規登録数5件(184戸)・全登録数85件(3193戸)(28年12月末現在)

3 安全・安心な住生活環境の確保

- 既存の住宅・住環境のバリアフリー化の推進
- ・高齢者が居住している既存住宅内の安全確保を図るため、要支援・要介護認定を受けていない高齢者を対象に、手すりの取り付けや段差解消などのバリアフリー改修にかかる費用の一部を補助する「バリアフリー住宅改修補助事業」を平成26年度に創設。

【事業実績】

- 26年度 77件
- 27年度 156件
- 28年度 145件(28年12月末現在)

- 住み替え等で、空き家及び空き家予備軍となる持ち家を抱えた高齢者への支援
- ・すまいるネットにおいて、27年11月に空き家及び空き家予備軍となる持ち家を抱えた所有者向けに「空き家活用相談窓口」を創設
- 27年度 一般相談件数 123件、専門相談件数 30件
- 28年度 一般相談件数 577件、専門相談件数 144件

○高齢者の住み替え支援を図るためのマイホーム借上げ制度の利用促進

- ・成熟したニュータウンを中心に（社）移住・住みかえ支援機構（J T I）の「マイホーム借上げ制度」の周知、地元相談会やセミナーを開催

26年度 ①相談会の開催 8回 102組 117名参加

②不動産事業者への制度周知 2回

27年度 ①相談会の開催 4回 41組 53名参加

②不動産事業者への制度周知 2回

③セミナーの開催 67名参加

28年度（28年12月末現在）

①相談会の開催 2回 26組 35名参加

②不動産事業者への制度周知 2回

○（再掲）「地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）」の配置による「地域支え合い活動」の一層の推進

27年度 地域支え合い推進員 78名配置

地域支え合い推進員連絡会開催（各区、月1回）

小地域支え合い連絡会 680回開催

コミュニティサポートグループ育成支援事業 307グループ

28年度（28年12月末現在）

地域支え合い推進員 78名配置

地域支え合い推進員連絡会開催（各区、月1回）

小地域支え合い連絡会の開催

コミュニティサポートグループ育成支援事業

第2層協議体機能を含む地域ケア会議の開催

○（再掲）買い物やごみ出しなどの簡易な家事などの生活支援を行う地域貢献活動グループの立ち上げ仕上げ支援

【コミュニティサポートグループ育成支援事業のうち、地域貢献活動推進グループ実績】

26年度 活動グループ数 14グループ

27年度 活動グループ数 23グループ

○シルバーハウジングの活用

【L S A（シルバーハウジング生活援助員）の派遣（39住宅2,378戸）】

26年度 54名

27年度 54名

28年度 53名

Ⅸ 介護・福祉人材の確保・育成

○神戸市高齢者介護士認定事業の実施

- ・一定のレベルに達した介護職員を認定することにより、継続して働くことへの意欲向上を図ることを目的とした「高齢者介護士認定制度」を平成23年度より実施。

26年度 認定証授与者 28名 累計 144名

27年度 認定証授与者 24名 累計 168名

<p>28年度 認定証授与者 33名 累計 201名</p>
<p>○(再掲)認知症多職種協働研修(認知症ライフサポート研修)の実施</p> <p>26年度 5区 5回 計288人受講</p> <p>27年度 8区 12回 計741人受講</p> <p>28年度 9区(実績は集計中)</p>
<p>○市民福祉大学における研修の実施</p> <p>【社会福祉事業従事者研修の実施(介護以外も含む)】</p> <p>26年度 講座数58本 参加者数2,269名</p> <p>27年度 講座数58本 参加者数2,220名</p> <p>28年度 講座数44本 参加者数1,821名(29年1月17日現在)</p>
<p>○介護職員のネットワークづくりを進めるための「スキルアップ・福祉の仲間づくり研修」の実施</p> <p>【スキルアップ・福祉の仲間づくり研修の実施】</p> <p>26年度 参加者数26名</p> <p>27年度 参加者数26名</p> <p>28年度 参加者数23名</p>
<p>○(再掲)自立支援型ケアマネジメント研修やケアマネ塾の実施</p> <p>【自立支援型ケアマネジメント研修】</p> <p>26年度 5日間 延べ488名参加</p> <p>27年度 5日間 延べ455名参加</p> <p>【地域同行型ケアマネジメント研修(ケアマネ塾)】</p> <p>26年度 6日間 延べ66人参加</p> <p>27年度 6日間 延べ50名参加</p>
<p>○(再掲)NPOのサービスや住民主体の支援活動の担い手の確保</p> <p>【生活支援サービス立上げ支援事業】</p> <p>26年度 補助団体数 3団体(東灘区でモデル実施)</p> <p>27年度 補助団体数 1団体</p> <p>28年度 補助団体数 2団体</p> <p>【生活支援・介護予防サポーター養成研修の実施】</p> <p>26年度 養成人数 約70名</p> <p>27年度 養成人数 約170名</p> <p>28年度(12月末現在)</p> <p>養成人数 約170名</p> <p>追加養成人数 約60名(予定)</p>

○（再掲）ボランティア等の担い手養成研修の実施

【生活支援・介護予防サポーター養成研修の実施】

26年度 養成人数 約70名

27年度 養成人数 約170名

28年度（12月末現在）

養成人数 約170名

追加養成人数 約60名（予定）

X 保険者機能の発揮と介護保険制度の適正運営

○（再掲）個別支援から全市レベルまでの相互連携体制の構築による地域包括ケアシステムの推進

【地域ケア会議（日常生活圏域）の開催】

26年度 27 あんしんすこやかセンターが開催

27年度 64 あんしんすこやかセンターが開催

28年度（2月末現在） 75 あんしんすこやかセンターが開催

【区地域ケア会議の開催】

28年度（1月末現在） 6区（中央・北（北神）・兵庫・須磨・垂水・西）で開催

【地域包括ケア推進会議の開催】

27年度 1回（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、精神科病院協会、民間病院協会、ケアマネジャー連絡会、介護老人福祉施設連盟、介護老人保健施設協会、シルバーサービス事業者連絡会、社会福祉士会、作業療法士会、理学療法士会より参加）

【医療介護サポートセンターの設置】

28年度 東灘区、中央区、北区（2ヶ所）、垂水区に開設

※ 他区は29年度中に開設予定

【医療介護サポートセンターにおける多職種連携会議、事例検討会、研修会等】

28年度（4～12月） 中央区 10回 延べ569人

北区 12回 延べ298人

北神 14回 延べ543人

垂水区 30回 延べ621人

※ 東灘区はコーディネーターの配置が遅れたため実績なし。

○あんしんすこやかセンターの適切な運営の確保に向けた地域包括支援センター運営協議会の開催

26年度 市：年2回 各区：年2回

27年度 市：年2回 各区：年2回

28年度 市：年2回 各区：年2回

（主な内容）

- ・ 公平性中立性の確保に関すること
- ・ 事業目標の設定及び進捗状況の報告
- ・ 多職種連携による地域包括ケア体制の構築について

○ (再掲) ケアマネジャーを対象に、事業者集団指導や研修会、ケアプランチェック等の個別指導の実施

- ・ 自立支援型ケアマネジメント研修の開催
26年度 5日間 延べ488名参加
27年度 5日間 延べ455名参加
- ・ 居宅介護支援事業者を対象に面接によるケアプランチェックを実施。(個別の事例を通じケアマネジャーの気付きを促し、適切なケアマネジメントを支援。平成28年度に市内一巡をほぼ達成)
- ・ 事業者説明会(集団指導)にて、ケアプランチェックで改善指導の多い項目等を説明、結果のフィードバックを実施。
- ・ 区ケアマネジャー連絡会と連携し、アセスメントを通じたケアプラン作成について理解を深める研修会を開催。(4区)
- ・ 制度改正(総合事業)に伴い、あんしんすこやかセンター、ケアマネジャーに対して研修会(全14回)事業者説明会(2回)を実施。
- ・ あんしんすこやかセンターの主任ケアマネジャーが中心となり事例検討会等を開催。(医療・介護の連携や多職種連携の必要性など、ケアマネジャーのスキル向上を図る。)

○ (再掲) 介護保険事業者に対する実地指導・集団指導の実施

26年度	①実地指導	222件
	②監査	168件
	③集団指導	3回
27年度	①実地指導	266件
	②監査	160件
	③集団指導	2回
28年度(28年12月末現在)		
	①実地指導	200件
	②監査	100件
	③集団指導	1回

○ 介護ロボットの開発者が介護現場の課題に適切に対応したロボット開発ができるよう、リハビリテーション専門職や介護関係者の意見反映の機会を提供

【介護・リハビリロボット産業化支援の実施】

- | | | |
|-------------|-----------------------------------|----------|
| 27年度 | ①専門家と介護ロボット開発企業の開発相談等の面談の実施 | 10回(8社) |
| | ②介護従事者と介護ロボット開発企業(6社)の意見交換会を実施 | 1回 |
| 28年度(2月末現在) | | |
| | ①専門家と介護ロボット開発企業の開発相談等の面談の実施 | 13回(10社) |
| | ②市内企業(10社)を対象とした介護施設の見学会と意見交換会の実施 | 1回 |

- 開発した介護ロボットを介護現場での普及していくための取り組みの検討
- ・ 「介護・リハビリロボット産業化支援の実施」に加え、介護やロボット関連の展示会へ、介護ロボット開発企業の共同出展を実施
- 27年度 「国際福祉機器展 2015」に出展 4社と共同出展
- 28年度 ①「サービスロボット開発技術展」に出展 2社と共同出展
- ②「JapanRobotWeek」に出展 3社と共同出展

XI 介護予防・生活支援を推進する地域づくり

1 あんしんすこやかセンターの機能強化

- (再掲) ○あんしんすこやかセンターの周知
- 26年度 市政広報ポスターの作成
- いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展
- 新神戸駅での広告掲示
- あんしんすこやかセンターマップ、一覧パンフレット作成
- 27年度 広報KOB E2月号に掲載
- 広報KOB E6月号挟み込み
- いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展
- 28年度 コンビニ・みなと銀行へのセンターパンフレットの配置
- 神戸市営地下鉄への看板広告
- いきいきシニアライフフェアでのセンターブース出展
- (再掲) ○あんしんすこやかセンター職員等に対する研修
- 26年度 初任者研修 4回
- テーマ別研修 9回 (地域診断、ネットワークづくり)
- 年次別研修 1回
- 若年性認知症支援研修会 1回
- 高齢者虐待対応研修 4回
- 予防給付ケアマネジメント従事者研修 8回
- 27年度 初任者研修 5回
- テーマ別研修 7回 (ネットワークづくり、ファシリテーション)
- 高齢者虐待対応研修 4回
- 認知症地域支援推進員研修 2回
- 若年性認知症支援研修会 1回
- 介護予防サロン進捗報告会 1回
- 予防給付ケアマネジメント従事者研修 7回
- 28年度 初任者研修 5回
- テーマ別研修 6回 (ファシリテーション、地域課題化、地域診断)
- 高齢者虐待対応研修 4回
- 認知症地域支援推進員研修 2回
- 若年性認知症支援研修会 1回
- 予防給付ケアマネジメント従事者研修 4回

(再掲) ○地域ケア会議(日常生活圏域)の開催

- 26年度 27 あんしんすこやかセンターが開催
- 27年度 64 あんしんすこやかセンターが開催
- 28年度(2月末現在) 75 あんしんすこやかセンターが開催

2 日常生活圏域ごとのデータ活用による介護予防・日常生活支援を推進する地域づくり

(再掲) ○大学・研究機関との共同による効果的な介護予防事業の展開

26年度

- ①日本老年学的評価研究(JAGES)プロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの開発と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(4地域)
- ②JAGESプロジェクトのデータを活用した、介護予防啓発媒体の広報紙挟み込みの実施(全戸配布)
- ③大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

27年度

- ①JAGESプロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」のモデル地域における効果検証の開始(2地区対象)
- ②JAGESプロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの活用と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(2地域)
- ③大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

28年度

- ①JAGESプロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」のモデル地域を拡大し、効果検証を継続(1地区拡大)
- ②JAGESプロジェクトとともに、住民主体で実施する「つどいの場」の効果検証の実施(57ヶ所対象)
- ③JAGESプロジェクトによる神戸市の介護予防事業実施対象地区選定シートの活用と、シートを活用した介護予防サロン推進事業の実施。(3地域)
- ④大学等により開発された神戸市の介護予防プログラムを用いた教室の展開と、参加者の効果測定を行うことにより、事業評価、事業内容の修正を行った。

○介護予防サロンや介護予防カフェなど、高齢者が社会参加できる住民主体の通いの場の充実

【介護予防カフェの実施】

- 26年度 ①説明会の開催 7回 280名参加
②介護予防カフェの実施 39か所 延べ5,962名参加
- 27年度 ①説明会の開催 2回 74名参加
②介護予防カフェの実施 57か所 延べ12,525名参加
- 28年度(12月末現在)
①説明会の開催 2回 35名参加
②介護予防カフェの実施 62か所 延べ12,535名参加

③介護予防カフェスタッフの交流会の実施 1回 20組 32名

【介護予防サロン推進事業の実施】

- 26年度 ①対象地域 4か所
②介護予防サロンの実施 2か所
- 27年度 ①対象地域 6か所
②介護予防サロンの実施 2か所
- 28年度 (12月末現在)
①対象地域 9か所
②介護予防サロンの実施 6か所

【生きがい対応型デイサービスの実施】

- 26年度 139箇所 利用登録人数 2,351人
- 27年度 136箇所 利用登録人数 2,304人
- 28年度 (1月末現在)
131箇所 利用登録人数約 2,300人

【地域拠点型一般介護予防事業の開始】(平成29年度～)

地域特性に応じた介護予防の取り組みを推進することとし、専門職を派遣するなど介護予防強化メニューを実施(小学校区毎に1箇所設置目標)。

○フレイル健診の実施

65歳の市民を対象に、集団健診会場や薬局等において、要介護状態に移行しやすいフレイル予防の観点に基づいた各種質問の聞き取りや握力などの各種測定を実施。平成29年度より実施予定。